

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

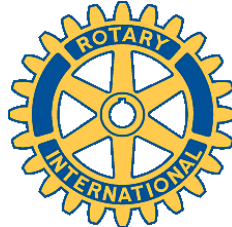
銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日
RI承認 昭和32年4月15日
会長 大里 忠 弘
副会長 宮内 榮
幹事 金島 弘
会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RIテーマ
奉仕を通じて平和を
Peace Through Service

2012～2013 RI会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～
例会場 銚子商工会館5F大会議室
事務所 銚子市三軒町19-4
銚子商工会館内
電話 0479-25-3111(会館)
0479-23-0750(専用)
ファクス 0479-25-8789
e-mail rotary@choshinet.or.jp
URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rcr>

第2721号 (2012年8月1日発行)

今週のプログラム

『会員増強月間にちなんで』

杉山俊明 会員

前回の例会報告 (7月25日)

点鐘： 大里 忠 弘 会長

ロータリーソング： 四つのテスト

会長挨拶

先日行われました、夏の交通安全運動に伴う薄暮街頭監視に、猿田社会奉仕委員長はじめ松本会員、石毛会員、金島幹事暑い中参加していただき大変お疲れ様でした。

このところ皆さんご存知のように、自転車への風当たりが強くなっています。一時は毎日のように人ごみの中や渋滞の車道を縫って走る様子が報道番組などで映し出されていました。自転車による事故も増え、それに伴い死亡事故も多発しています。数年来続くガソリンの価格高騰や、環境にも健康にも良いということでもはやされ、いわゆるブームになっています。田舎ではあまり感じませんが、都会では以前からのママチャリによる買い物や、通勤通学に加えスポーツバイクなど

による(通勤ライド)なるものがとても増えたようです。

今までも歩道を猛スピードで駆け抜けたたり、歩道を行き来する人にハッと危ない思いをさせる様なマナー違反をしたりと、心無い運転をする人もたくさんいましたが、最近では死亡事故に直接関与した運転手ではなく自転車で横断歩道の無い場所を横切りその事故を誘発したとして60代の男性が有罪の判決を受けています。

これまで自転車の運転手は自分の都合により歩道を走ったり車道を走ったりと、チャリンコだから、と交通ルールに対して甘えていた節があります。車は走る凶器とよく言いますが、自転車は歩行者にとっては車と同じ様に怖いもの、車の運転者にとっては邪魔で危なっかしいものという認識を十分に持って乗ってもらいたいものです。

しかし、風を切って爽やかに走る感覚は最高です。くれぐれも安全運転で。



第2790地区
ガバナー 得 居 仁 (松戸東RC)

会報委員
大岩將道、坂本尚史、越川信一

会員の記念日

なし

幹事報告

1. 週報拝受 …… 柏RC、流山RC
2. 活動計画書拝受 …… 柏RC、流山RC
3. ロータリークラブ・セントラルについてのご案内 …… ロータリー世界本部
4. 2012-13 年度クラブ米山記念奨学委員長セミナーのご案内 …… ガバナー事務所
5. 2012-2013 年度国際ロータリー第 2790 地区地区大会記念ゴルフ大会登録開始のご案内 …… ガバナー事務所
6. 地区大会記念ゴルフ大会登録締切の件 …… ガバナー事務所
7. 大多喜RC例会時間変更について …… ガバナー事務所
8. ロータリーの友クラブ雑誌委員長用資料送付のご案内 …… ガバナー事務所
9. 月信用報告サイトのお知らせ …… ガバナー事務所
10. スポーツ大会のご案内 …… 銚子東RC

例会変更

旭RC：8月10日 定款により休会
8月31日 黄鶴にて夜間例会

お客様

アクア・プラン(株)
代表取締役 北山喜一様 (卓話者)

臨時理事会報告

◇ 事務局について
事務局員の鈴木さんが今月末で退職することになった。今後の事務は各委員長で仕事していくことになった。なお、事務局員の募集は引き続き続けていくので、適当な方をご紹介いただきたい。

◇ 鈴木さんご挨拶

早いもので採用されて12年半経ちました。毎年の会長・幹事・委員長のご指導で勤めてきました。色々ありましたが幸せでした。退職して申し訳ありませんが、長い間有難うございました。



委嘱状交付

◇ 織田吉郎会員

地区諮問委員、地区指名委員、地区表彰委員、地区財務委員長、地区R財団委員長、地区大会選挙管理委員長

◇ 杉山俊明会員

地区クラブ奉仕委員長



ニコニコ

◇ 杉山俊明会員

7月22日の市立高校同窓会総会に於いて、同窓会長に承認されました。市立高校(旧お山・西高)の皆様よろしくお願ひ致します。

◇ 金子芳則会員

7月22日二女の結婚式が葉山にて行われました。親の役割に区切りが付きまして、ほっとしました。

◇ 高瀬幸雄会員

北山社長様 節水の卓話楽しみにしています。

卓話

節水について

アクア・プラン(株) 代表取締役 北山 喜一様



●アクアクルーとは、実用新案特許の特殊構造により流速・消音・整流の条件をクリアした理想的な節水器です。取付け前の使用実感そのまま水道料金を10～30%削減し、CO₂の発生を抑え環境保護にも貢献できる節水

システムです。

●アクアクルーの高性能を活かしきるために、弊社の専門スタッフが綿密な調査・分析・施行を実施します。水圧は地盤の高低など地域によって違い、建物の階によっても変わってきます。また、用途によって求められる吐出量は異なりますので、あらかじめ流量計や水圧計を使って調査・分析を実施します。

そのうえで、アクアクルー・アクアアンカー100アイテムの中から、各使用箇所に最適のサイズ・形態を選択するシステムをとっています。吐出量をきめ細かく設定するため、どんな業務用途の水栓であっても、水作業に違和感や悪影響が出ることはありません。

豊富な経験と調査に基づいた的確なプランを御提示します。これにより節約効果を事前に確認して頂き、納得・安心のうえ、導入を決めて頂きます。(調査・分析費無料)

●水を頻繁に使用する外食産業、ホテル、病院・老健など多くの企業様に導入頂いています。

おかげさまで平成7年創業以来、7,020社様(30,000物件)にご愛用頂き、当業界では全国トップクラスの規模と高い評価を頂いています。

●アクアクルーは、エコアクションポイント(環境省とJCBが推進している、エコなアクションに特化したポイントプログラム)・エコマーク・グリーン購入ネットワークに登録された、環境保全型商品です。

●節水効果安心保証については、施行後の無料メンテナンスは勿論の事、万一事前の節水プランの費用対効果が実現しない場合は、大手損保会社の保証により、頂いた節水システム料金を全額返金いたします。

●最後に、人と地球に配慮した製品・サービスの

存在意義を実感し、安全・快適・衛生的な生活環境や職場環境が今まで以上に求められていることがわかりました。

今後も、企業理念である「安全」・「快適」・「衛生」・「環境保護」を軸としてお客様の業績向上、ひいては地球環境保護による明るい未来づくりにつながるサービスの提供を目指し、更なる取り組みの輪を広げ全国にネットワークを持ち、お互いに利益を生み出せる関係を作りたいと思っています。

<先週の卓話報告続き>

出前教室に参加して - 『人生の課題』 -

佐藤 直子 会員



(前号から続く)

中学生という、少し早い時期に、いえ、早い時期にこそ、この先の成長の過程で何が待っているかを、「知る」、ということは、無駄なことではないと思います。

そしてそれは、人を知るうえで大切な情報源になるからです。また、大袈裟ようですが、彼らの「生き方」自体も変わってくるかも知れません。

さて、人生の最初のステージは「乳児期」です。ここでは「基本的信頼」を獲得します。ここでは母親と乳児の関係を紹介して、基本的信頼を獲得することと、それが獲得出来ないと「基本的不信」を生涯持ち続けることを話しました。具体的には、この「乳児期」には、私たちは母親が「決して私たちを寒さの中に置き去りにしない」というような信頼を学びます。抱き寄せられた母の胸の中で、暖かさと安心を感じた時、突然、耳を突き刺す電話の音と共に、私たちは母親から引き離されて一人ぼっちにされてしまいました。乳児期に私たちが理解できるのは前の前に広がる「今」この時だけです。あっという間に見捨てられてしまった私たちは、空腹と寒さに震えながら、怒りで顔を赤く染めて泣き叫びます。こうして私たちは「人生における最初の課題」に向かい合うのです。

私たちはここで、母親は必ず自分たちのもとに戻ってくると信じなければなりません。私たちが空腹の苦しみや怒りや恐れに耐えていれば、母親

は自分のもとに戻ってくることを繰り返し証明してくれまます。乳児は、母のこの絶え間なく繰り返される行動から、自分は愛されていることを学ぶのです。母親は決して自分を置き去りにほしなない。私は耐えられる。寒さも飢えも怒りも乗り越えて、母を待つことが出来ると。母親は自分を見捨てない、ということ乳児は学ぶのです。

それが先程の「基本的信頼」を獲得するという事です、それが獲得出来なかった時は、そこには「基本的不信感」が残ってしまいます。

こういう話をしながら、次のステージ「幼児期」(1～3歳)の説明をしていきました。ここでは「自律性」を獲得し、獲得できないと「疑い・事故不信」を持ち続けます。

しかし、大事なことは、ここでも「乳児期」に獲得できなかった「大きな負の課題」が影響するという事。これが成長の過程で連鎖していくものだという事、私自身も改めて学びましたが、それを知ってもらうことは、これからの自分の成長の過程や人生の課題にぶつかったときに影響している事を知ってもらいたかったのです。

そして「遊戯期」(4～5歳)には「主導権(自主性)」を獲得し、獲得できないと「罪悪感・憂鬱」を、「学齢期」(6～12歳)には「勤勉性」を獲得し、獲得できないと「劣等感」を、そして、今その時期と言える「思春期」(12～14歳)には「アイデンティティ(同一性)」を獲得し、獲得できないと「アイデンティティの混乱」が残ってしまう。。と。さらには、「若成人期」(二十歳前後)には「親密」を獲得し、獲得出来ない場合は「孤立」自分の殻に引き籠る、また「成年期」には「生殖性(生み出す)」ということを獲得し、出来ない「沈滞(停滞)」を、そして「老年期」には「成熟(統合)」を獲得し、出来ない「絶望、嫌悪」を、「老年後期」には「解決」を獲得し、それが出来ない「現在からの退却・依存」などを残してしまう。。という理論です。

特に、彼らとその渦中にある「思春期」の話は、具体的に、アイデンティティとはどういうものかを説明しましたが、この時期は、自分の主体性を探すために一番身近な人たちと闘うことは、悪いことではなく、これは自分が何者であるか、どれほどかけがえのない存在なのかを知るための闘いだということを強調し、一番身近な人には、今までの過程で獲得してきたものがあるから、信じるものがあると学んできたから、反抗を起こすこ

とが出来るという事を知って欲しいと思えました。

最後に、いまある「いのち」とは、私たちが自由に使える時間であること。いのちも時間も目には見えないけど、使うことが出来る。時間を使うことで命が形となること。そして、肝心なのは、そのいのちである時間を有意義に使うことだということ、少しだけでも伝えられた貴重な体験でもありました。

ただ、自分の想像していたのとは全く予想に反し、まだ幼さの残るその顔で、真剣に人の話を聞く中学生たちの目を見て、こんなにも澄んで綺麗だったことを忘れかけていましたが、その目の中に自分が置き去りにした何かを、思い出させて貰ったような気がして、却って、清々しい気持ちになって、出前教室を終えたことをここに報告します。

【出席報告】

会員総数 39名 出席計算 38名

出席：31名 欠席7名 出席率 81.58%

欠席：阿天坊君・石川君・栢尾君・松本君・猿田君・植田君・内田君

【M U】

△春の交通安全街頭指導(7/20)

石毛君・金島君・松本君・大里君・猿田君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 8,000	計	¥ 62,000
スモールコイン	¥ 4,400	計	¥ 10,255
米山BOX	¥ 2,841	計	¥ 2,841

次週のプログラム(8月8日)

『ロータリーに入会して』

有村 俊一郎 会員・越川 信一 会員

お弁当:膳(幕の内)